

郷の集

発行 行美
 編集 田所
 印刷 久野印刷株式会社
 編集責任者 美田所
 編集者 田所
 編集 田所
 印刷 久野印刷株式会社

御挨拶

会長 坪田 万右工門

このたび新郷小学校愛護会会長の重任をお受けすることになりましたが、派手な私には大変な重荷であり先行き不安な重荷です。しかし先輩の方のご指導と皆様方のご協力によって、一生懸命頑張つて大役を果たしたいと思っておりますので、今後ともよろしくご支援の程をお願い申し上げます。

野山の新緑も日一日と濃くなり、会員の皆様も忙しい毎日を送られていることと存じますが、本会の定例事業であります勤労奉仕や廃品回収には各段のご協力をお願い申し上げます。

戦後二十数年間に亘りPTAは、設備の後援会的な活動を続けてまいりましたので、学校の設備や備品も充実してまいりました。しかしながら戦後の著しい経済成長にとともに、社会構造も複雑となり、親子の人間関係も阻害されるようになりましたことは、誠に遺憾に思います。



御挨拶

副会長 三上 教子

この度PTAの皆様の御推薦によりまして、新郷小学校愛護会の役員の一員として、私の所信の一端を申し上げますと共に、心からご協力をお願い申し上げます。

前役員の方々に始め関係者各位の熱意と皆様方の御協力のもとに、学校環境改善を申し上げます。

学校と家庭

顧問 東安兵衛

農村も年毎に労力不足の状態となり、いづれの部落も日中は老若男女皆外に収入を求めて留守居も居ない程で、村は淋しい外に出ない老人達も野良仕事で学校から帰った子供の「帰りました」の声を返さない子供はお菓子の袋を抱えて遊びに走り去る農作業は全く朝晩の仕事となり親達は実に十二時間労働である外は暗くなると仕事から帰った頃子供はテレビの前に宿題は忘れてしまふこれも家族の者の過労からだ。今は日も長く

新任の先生

言葉をかけ

手をかけ

南條美奈子

所である設備も一つ一つ充実の段階に進めて来て下さったことを深く感謝いたしております。今後も尚更学校在学中の生活環境改善に努めたいと思っております。及ばず一層誠実に学校運営に協力して、学校側、父兄、児童との間の潤滑油としての御役に立つことが出来れば幸いです。何卒よろしく御協力下さる様伏して御願い申し上げます。

「先生!!」と、とびついてくる元気な子。だまって、こっとほほえむ子。そっと見上げてくっついてくるおとなしい子。一人一人が違っていても、その瞳は信頼に充ちたまなざしで、蒸ってくれます。苗代から移されたばかりの早苗のように清らかで純真そのものです。

どの子も、この子も、だいな子!!この子達の元気な姿を見るとき、その成長の陰に、御両親の苦労がしのばれて、胸があつくなるおもしろい。

親心、子どもの感動、すべて、手をつなぎ、大空に高く泳ぐ鯉のぼりのようにたくましい子に育ちますよう、できる限り「目をかけ、手をかけ、言葉をかけ」てやりたいと思っております。何分にも経験も浅く微力でございますので、御父兄の皆様温かい御協力を切にお願い申し上げます。どうぞよろしく御願ひ申し上げます。

急がないで

学校長 北川 耕造

五月十八日 木曜日
 学校の帰りに信号が黄色なのに平気で通って行く車がありました。わたしはあせつちかんだらう。「次つかまじい」と思い、ナンバをおぼえておきました。福井トラック251011でした。どうしてみんな急ぐのかな。信号機ぐらいいよと止まったらどうだろう。ここは子どもの通るところだから。

このように早目早目に事をなしてゆく日本人だからこそ、あの戦後の廃墟の中から、急速な復興をなしとげたのはなにからうかと日本人のバイタリティを云々する人もあります。それも一理かもしれませうが、おのずから限度があつたらう。いらいらすれば、顔の表情もけわしくなりがちで、摩擦もおこりやす、ろくなことはありません。

私たちがかく目先のことにとらわれ易いものです。私の近所に学校へ行くのをいやがる子どもがおり民生委員として相談を受けた家内は、毎朝七時になると見に行くことになりました。一週間ぐらい順調だったのですが、三回祭と日曜の二日続きの休みで、くせが出たのか「もう少し寝させたい」とぐずり、家内が出かけたら雲を霞と逃げてしまふ有様です。こうなれば根気比べだと申し居りますが、聞くところによると、保育所へ通う頃もいやがるのを自転車に乗せて無理やり連れて行ったそうです。あげくの果ては、わざと

道で靴を落して抵抗したとか。この子の登校拒否は、案外その頃のいやな印象を根ざしているのかもしれない。私は保育所のことをとかく云う気持は毛頭ありませんが、幼稚園は午前中で帰ってしまうが、保育所なら終日預かってもらえるからという安易な考え方が、根底にあっては問題だと思えます。

三つ子の魂百までと申します。いさか論理が飛躍したようで恐縮ですが、幼児教育の在り方について、共々に真剣に考えてみましょう。

朝も予猫が有るが冬にもなる朝家を出かけるのは小さな子供が一番早い家庭も多い。子供の心になって見てやりたいと親は皆思ふたので可愛想に思う。勉強は学校任せになり勝た五六乍ら忙殺されておき去りになるのが現状だと思ふ。初等教育の如何に大事であるか常に心して行きなさい。中等高校大学ともなれば、はじめに述べた通り親の言う事は聞かない様になる親の行動は常に子供は見ているのだと言う事を忘れず家庭教育に當つて欲しい。

愛護会事業計画

去る五月一日に全体委員
会を開いて左記のような事
業計画を決めました。

- 部落懇談会 七月下旬
- 植樹作業 六月上旬
- 母親学級開設 年十回
- 役員と正副委員長 (役員と正副委員長)
- プール清掃 七月一日
- プール監視 自七月下旬
- 簡易保険料集金 毎月
- 研修旅行 七月下旬
- 産品回収 七月下旬
- 勤労作業 八月下旬
- 運動会参加 九月中旬

○部落懇談会 七月下旬
○母親学級開設 年十回
○郷の集い発行 年三回
○部落内の補導査察
○給食費集金 毎月
○簡易保険料集金 毎月
○研修会に参加
以上のはか各分科委員会
において必要に応じて委員
会を開いて実施いたしてお
ります。

母親学級行事

五月二十四日開講式を行
ない、斎藤社教主事先生の
講話のあと、全体会を開き
本年度の運営について、稲
崎校長を中心にいらい
ろ話し合いました。

- 毎月の計画
- 五月：開講式 講話
- 全体会
- 六月：授業参観 学級懇
談 クラブ
- 七月：研修旅行
- 八月：レクリエーション
クラブ
- 十月：授業参観 学級懇
談 クラブ

十一月：授業参観 学級
懇談 クラブ
一月：授業参観 学級懇
談 クラブ
二月：授業参観 学級懇
談 クラブ
三月：修了式 講話
茶話会

○本年度よりクラブが、生
花、手芸、読書、体育、
音楽の五つに編成されま
した。又、クラブの質を
高めるため昨年同様、
外部から講師を招く予定
をしております。

御挨拶

母親学級長
稲崎キサ子

このたび、名誉ある、新
郷校下の母親学級長の役を
預り、責任の重大さを、考
えるのでありますが、私と
ときものが、どれだけやれ
るか心配でなりません。
子供達の健全な成長は、私
達の母親学級を重視して、
授業参観等には、できるだ
け出席して、講話をきいた
り、学級懇談には、
いろうゝと意見を、のべあ
つて、子供達の指導に
つとめより、学校に
てゆこうではありません
か。

今後は皆様方の、御協力を
くれぐれもお願いします。

日記から

四年 森みゆき

六月十三日
お店で、そうじをしてい
ると、美保恵さんのおかあ
さんが わたしに
「えらいの。」
と言ったので、はずかし
いので、下を向いてしてい
ました。そしたら おば
ちゃんは 美保恵さんのおか
あさんに
「なにする。今やっとした
んにやわ。」
と言いました。
わたしは、心の中でいつ
もやっしているのに、おば
ちゃんをおこっていました。
六月二十九日 山崎満

あきら

二年 おじまこと

あきらは
よく だまされる。
こないだ
にいちやんが、
「あつとりいるぞ。」
と、いつて
おかしをとった。
そのつき ばくも、
「あつとりいるぞ。」
と、だました。
でも、あきらは、
ばくには
だまされないうで、
おかしを
たべて しまった。

わたしとストウ夫人

五年 高戸 朱美

わたしは、ストウ夫人が
どれい問題について、いろ
いろ活やくし、どれいをな
くそうとしたことに感心し
ました。
それは、どれいも人間な
のに、売り買ひするからで
す。ストウ夫人も、このこ
とについては、たいへん
反対しました。そして人間
が人間をどれいとしてあつ
かうことは、罪悪である。
いつときもはやく、どれい
を解放して自由人間にす
ることは、人間としてのぎ
むであるということ、小
せつに書き、多くの人にう
つたえました。わたしも一
人で、どれいがどんなにわ
るいかわかってほしいので

鈴鹿サーキット

六年 篠崎 麗湖

修学旅行の帰りに、鈴鹿
サーキットで遊んだ。
乗り物は、四つ乗れる券を
もらって、入った。
わたしは、始めに、山崎さ
んと、水陸両用車に乗った
。そして、わたしが、アク
セルをふんで、山崎さんが
、ブレーキをふむことにな
った。
いよいよ、わたしたちの番
が来た。
わたしたちは、水陸両用車
に乗り、わたしはアクセル
をふんだ。
「ガー。」
水陸両用車が動き出した。
わたしと、山崎さんは、
「おそろしい。」
と言った。
でも、あとになると、別に
おそろしくなくなつた。
そして、水の中に入った。
そして、何か、変な感じが
する。水の中に、もぐって
しまし、そう感じがした。
水陸両用車は、長い間乗っ
ていたので、乗り終わって
から(やっつて、ついた)
と思ひました。

われたコップ

一年生の子どもたちに、
こんな質問をしてみまし
た。

乗る前に八十島さんが、
「かたつむり、つりあいと
れんでおそろしいわ。ほ
やけど、おもしろいわ。」
と言ったことを、思い出し
てみた。八十島さん
の言ったとおり、つりあい
がとれなかった。
でも、とても楽しかった。
乗っているときに、山崎さ
んが、
「わたしの方が重いので、こ
っちかたむく。」
と言った。
しばらくして、木の穴の中
に入った。
木と言つても、つくり物だ
つた。
わたしは、券をつかってし
まつてから、山崎さんと、
アイスクリームや、鈴や本
を買った。
わたしは、もう一度行つて
みんなと乗り物に乗つたり
何か買つたりしたいなと、
思つた。

もうすぐ
一年生

うれしいな！
らくだな！
先生に、おこられなくて
もいいよ。
ふるで、およぎたいな
はやく。はやく。
どこかへ、つれていって
もらえらん。

うみへいけるよ。
ちいさいいけるよ、まいに
ちいさいいけるよ。
はやく、こいこい
なつやすみ。
みんな、まってるよ!!

「暑い日でした。太郎くん
のおかあさんは汗をふきな
がら、市場に買い物に出か
けていきました。
これを見ていた太郎くん
は、おかあさんが帰ってこ
られたとき、冷たいお水が
あつたら、喜ぶだろうな。
そうだ、コップにお水を入
んでおいてあげようと思ひ
ました。そこで、コップを
さがしました。コップがみ
ずやの上のついています。
でも、太郎くんのせいでは
とどきません。太郎くんは
困つてしまいました。いろ
いろ考えて、太郎くんは踏
み台をさがしてきて、その
上にあがって、コップを取
ろうとしました。
ところが、手がひっかか
つて、コップのついていた
おぼんを下に落としてしま
いました。おぼんにのつて
いたコップが六つとも、み
んな割れてしまいました。
この文章を読んでお母さん
方ならどう対処いたします
か？